

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成実施方針）

1) 基礎力の育成

⇒全人的医療の担い手として、豊かな感性と人間性を専門分野で発揮する、基礎的能力を育てるため基礎分野（教養科目）は科学的思考の基礎と人間と生活・社会の理解を目指して科目を編成する。

2) 最先端の学習力育成

⇒国家試験水準の知見や時代のニーズを把握し、さらなる学びを続ける姿勢を育てるために、専門教育では最先端の保健医療福祉分野の学習を行い、医療倫理と安全管理への主体的学習・協同学習・経験学習を具現化する科目を編成する。

3) 人材育成

⇒保健医療福祉の専門職者に求められる主体的思考力・判断力・行動力・評価能力を身につけ、気力・体力・能力を合わせ持つ人材を育てるために、人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度に関連する科目を編成する。

4) 実践能力育成

⇒保健医療福祉の専門分野の担い手としての意識と、必要な実践能力の意味を自分のものにする力を育てるために、実習科目においては基礎実習から各論実習、統合実習を系統的に編成する。